

大台警察署協議会議事録

令和 8 年度第 1 回大台警察署協議会	
日 時 場 所	令和 8 年 6 月 16 日（火）午後 1 時～午後 4 時 30 分 大台警察署 1 階災害対策室
出 席 者	1 三重県公安委員会委員 志田幸雄委員 2 警察署協議会委員 5 名 楠川洋委員、中山善哉委員、野呂茂生委員、林珠実委員、東絵美委員 3 警察署 6 名 署長、副署長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備係長、会計係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 委嘱状交付 2 公安委員会委員挨拶 3 警察署長挨拶 4 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介 5 議事 (1) 警察署協議会会長、副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に野呂委員を選出した。会長が東委員を副会長に指名した。 (2) 管内治安概況等説明（警察署長） ア 管内概要 イ 犯罪情勢 ウ 交通情勢 エ 山岳遭難発生状況 (3) 「令和 8 年三重県警察運営の重点」説明（副署長） (4) 「令和 8 年大台警察署速度取締の指針」説明（地域交通課長） (5) 「交通安全施設の見直しについて」説明（地域交通課長） ア 滝原北交差点の信号機撤去について イ 沼ヶ野交差点の信号機撤去について (6) 協議テーマ「地域住民が今最も関心を持っていること」 ＜委員＞ 旧宮川地区の住民としては、やはり災害対策に関心がある。	

【署長】 災害対策については、警察においても様々な面で、もしもの場合に備えた活動ができるよう準備をしている。

＜委員＞ 子供のＳＮＳの使用について不安があり、身近な実例等が聞けたり、情報が得られる場所があればありがたい。

【生活安全刑事課長】 子供のＳＮＳ利用については、学校と連携してネットトラブル等の被害防止教室を開催している。学校によっては保護者にも参加してもらっている。また、三重県警ではターゲティング広告等により、ＳＮＳによる防犯に努めている。

これらの取組を継続的に実施していき、広く住民の方々に浸透させて、一人一人が犯罪被害に遭わないための知識や対策を身に付けてもらうことが大切だと考えている。

＜委員＞ 学校教育を終えた若者への被害防止対策も必要である。

【副署長】 若者が集まる自動車学校のほか、少年院、鑑別所等でも取組を実施している。様々なアプローチ方法があると思うので、御意見をいただき、我々の活動とリンクさせていきたい。

【署長】 当県警では、サイバー犯罪に長けた人材の確保や、新たな部署を新設すること等により、ＳＮＳにおける被害防止対策を強化している。

＜委員＞ 安全運転管理者推奨像の伝達に参加したことで、従業員の交通安全に対する意識が変わった。地域の見守り隊としての役割を果たせるような事業をしていきたいと考えている。

＜委員＞ 私は以前、教育委員会による不審者対策として青色回転灯を利用したパトロールを行っていた。今後も役場と警察が協力して重点的なパトロールを実施していただきたい。

【署長】 役場の青色回転灯については、現在も継続して活動されているものと認識している。現在の活動状況を確認の上、連携して取り組んでいく。

＜委員＞ 各地区で警察の方々と地域住民や子供達が交流する場を作っていただきたい。

【署長】 警察業務に興味を持っていただくためにも、様々な機会を設けていきたい。

＜委員＞ 大台署の山岳警備隊の存在や活動をもっと地域住民に周知して、山岳遭難の防止につなげてほしい。

【署長】 山岳遭難は、右肩上がりが増加している。山岳警備隊の活動とともに、広報啓発活動を行い、未然防止に努めていく。

6 公安委員会委員長講評

7 警察署長謝辞

8 視察

大台町滝谷地内において、山岳警備隊員による山岳救助訓練の状況を視察した。

備 考	報道機関 1 社 1 名
-----	--------------